

若浜の子ども



令和2年8月3日 第8号

子ども・学校・家庭にとってはじめてだらけの1学期



2年生 生活科「町たんけんに行こう」

3月3日からの臨時休業、緊急事態宣言、在校生がいない入学式、修学旅行や宿泊体験学習の延期、8月に入ってからの夏休み。いまだに収まらないコロナ禍によって、あらゆる面で学校の1学期の予定変更を余儀なくされました。

5月25日から学校が再開され、一見以前と変わらない学校生活を送っているように見えますが、全校児童が集まっての朝会は実施しませんでした。また、小体連の陸上記録会、水泳記

録会、体育の水泳の授業、スポーツ少年団の各種大会等、子どもが元気に活動する場が大幅に削減されたため、児童の挑戦意欲をかき立てる機会を失ってしまいました。特に今年の6年生は運動面で優れた力を持っている子が多いだけに残念でした。

さて、保護者の皆様が心配なさっている学習の進み具合については、本来の進度より2～3週間程度の遅れまで挽回しています。ただし、個別指導をする時間が取れなかったため、学習内容が身につけていない児童を支援しきれなかったことが課題です。これまで以上に、担任と家庭が連絡を取り合って、学校・家庭の協力体制のもと課題解決に向かう「共育（ともいく）」の心で、若っ子の指導に取り組んでまいります。

5日から始まる今年の夏休みは、2週間しかないため、例年宿題としている工作や研究は宿題から外しています。しかし、やっていけないわけではなく、必須から外したということです。自由研究で継続研究している子、工作や手芸、絵や作文が好きな子は大いにやらせてください。

親子のふれあい、児童個々の課題に応じた学習やお手伝い、読書などご家庭のアイデアで短い夏休みを楽しく安全に過ごすよう、ご指導お願いします。

卒業生からのうれしいたより



3月に卒業した「わくわく学年」の子から、旧担任の先生に、暑中見舞いのハガキが届きました。時候の挨拶、近況報告、恩師の自愛についての末筆。敬語を使った表現。小学校での確かな学びとともに、中学校へ進んでからの成長ぶりを感じました。

近況報告の中には、初めての定期テストについて書かれています。自分のテスト結果（得点）とともに「(二中の1年生の)レベルの高さを感じました。」との記述から、仲間との健全な競

い合いをしながら伸びようとする、中学生らしいたくましさを感じました。また、「友達もでき、楽しい限りです。」との言葉から新しい環境で楽しく生活している様子で安堵しました。

フレーフレー二中!! フレーフレーわくわく学年!!

<しくじり先生（校長）のテストの思い出>

わたしの中学最初の定期テストの思い出というと、用意周到に向かったのに無残にも撃沈し、悔しくて泣いたことを思い出します。(特に数学は49点で、今でも忘れられません。)当然小学校の恩師に報告できるはずもありませんでした。失敗の原因は、自分が本当に分かったのかという一番肝心なところに目を向けず、やったことだけで満足していたことでした。勉強しっぱなしではなく、自分で丸つけをして、間違いや足りないところを見つけ、間違いの理由を考え、やり直すことの大切さを学ばされました。

マナー検定の項目に関するアンケート (7/21~26) 結果

お忙しい中、オンラインアンケートにご協力いただきありがとうございました。

保護者の皆様からいただいたご意見の中に、大人に対する子どもの態度について、違和感を持たれているご意見が複数ありました。わたしも似たようなことを別の点で感じています。それは、今の子どもが多くが目上の兄弟を呼び捨てにしているということです。つまり、「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」という言葉では、呼ばないということです。

兄の名前を呼び捨てにしている女子に、わたしが「お兄ちゃんと言ったらどう?」と言うと、「どうして?」と返ってきます。名前を呼び捨てにされている「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」たちの心中は、いかがなものでしょうか。慣れっこになっているのでしょうか。



子どもの礼法に関する本（「小笠原流子どもの礼法」）の巻頭言の中に「礼法には「なぜ」という「裏づけの理論」が大切です。「裏づけの理論」なしに礼法はありえません。」との記述がありました。この言葉を言い換えれば、礼儀作法という外から見えることを子どもにわかるように指導することは、心のありようについて指導することにつながるということではないでしょうか。

保護者の皆様からいただいたご意見（紙面の都合で一部となっています。）

- 「しっかり話を聞く」に関係しますが 相手の話を最後まで聞く →相手の話を遮って、自分の話を一方的にする事が無い様に。（社会に出てから苦労します。）
- 自分が言われて嫌だと思ふ事を相手に言わない 自分がふざけ半分で面白がってやった行動や言葉は、相手は嫌がってないかな？立ち止まる勇氣
- 親に対しての接し方がおかしい。こちらも親らしいことをしていないかもしれないが、『自分で生活してる』的な感じの態度が良くないと思う。まだ親に何でも『やってもらってる』身分なので、もう少し考えてほしいです。
- 人の嫌がることをしない。相手が不快感を示したらすぐやめる。
- 物を大切にし、次に使う人の事を考えて片付ける。
- 当たり前な事を馬鹿にしないできちんとする。
- 自分がされて嫌なことは人にもしない
- 困っている人がいたら、どうしたの？と声をかけてあげられる。
- 友達同士でも荒い言葉・汚い言葉は使わない。
- 感謝の気持ちを言葉で伝えることができる。「ご飯美味しかったよ。」などありがとうだけでなく、何が嬉しいと感じたのかを表現できるのは素晴らしい。
- 大人に馬鹿にした態度をとらない(見本にならないダメな大人も多いですが)
- どんなに小さな物でも、ふざけたつもりでも、人の物は盗らない！
- 間違っただけをしたとき、相手に嫌な思いをさせてしまったときは素直に謝る。
- お友達の家へ遊びに行ったときの礼儀。 お邪魔します、こんにちは、お邪魔しました等の挨拶と遊んだ後の片付けや勝手に他の部屋に入らない物をいじらない等々
- ごちそうさまでしたが言える
- いまどき言葉を使わず正しい言葉を使う
- 公衆マナー（ゴミ捨て、路上での行動等）
- 音を立てないで食べる
- 人に物を頼む時は「お願いします」を言う。
- きちんと返事をする。 ○ 相手の気持ちを慮る。

いただいたご意見をもとに、今後マナー検定の項目、進め方を検討いたします。

第1回校内美文字コンテスト（硬筆）

手書き文字のレベルアップをねらいとして、今年度から始めました。レベルの高い作品が多く、苦渋の決断による審査結果です。また、普段の字に比べ格段にすばらしい文字で驚かされた作品も多く、保護者の皆様からは、通知票配付の際に自分のお子様の学年だけでなく、全学年を見ていただきたいと思います。

<金賞>

1年生

わたなべ きょうや ほんだ かい たむら ねね せお さえ しのぶ さき
さとう しおり わたなべ じん なががわ ゆづき さとう みゆ いけだ りお
あひこ しおり あそ ひなか

2年生

豊田のどか 渡部はると 相馬ゆな 森谷にこ 佐藤まゆき 五十嵐のぞみ
佐々木けんすけ 菅原みおり 三浦ゆいな 斉藤ゆうな 根本だいき 志田めいさ
池田なつほ 佐藤ひより

3年生

高橋駿斗 小幡美天 守屋里緒 田村彩音 栗橋花帆 佐藤夏実 鈴木亜花璃
鷺田崇太郎

4年生

高橋彩珠 清川さくら 木村絢香 富樫琴 阿部海璃 菅原侑莉 小松昌継
佐藤陽和 芝田朱里 高橋佑太 高橋ひより 御船有紀人

5年生

住石帆花 伊藤梓 尾形咲智 小松菜々美 佐藤麻央 山下ひなた 佐藤千華
伊藤凜月 井澤歩花

6年生

鷺田さゆり 那須ひなた 庄司百希 佐藤花凧 伊藤純也 阿部直央
彦坂心々夏 長澤桃花 佐藤綾乃 佐々木碧唯 川嶋望未 池田紗奈

<校長賞>（人一倍努力を重ねた児童、進歩が著しかった児童、文字が金賞に近い児童）

1年生

よしだ めあり まつざき はやと くらもち みさき いとう こうだい
ほんま ゆうか かわごえ よう おしきり のわ おくやま ひなた

2年生

齋藤ゆづき 五十嵐みお 小林たつより 後藤はると 那須ゆらの 石垣ひなた
横瀬たくま 今野りゅうが

3年生

佐藤有紗 ローウェン久麗亜 吉田晴光 菅原悠介 伊藤駿 五十嵐勇吹

4年生

阿部麗奈 今田希愛 三川幹人 小島一樹 菅原侑真 佐藤凌汰 進藤大馳
照井美遥

5年生

本間遥斗 高橋希晏 佐藤千波菜 菅原健樹 佐藤昌 川越晴

6年生

齋藤成海 齋藤光牙 五十嵐唯 阿曾飛鳥 渡部龍真 鈴木峻太 齋藤汐乃
小松みずほ 近江樹英瑠